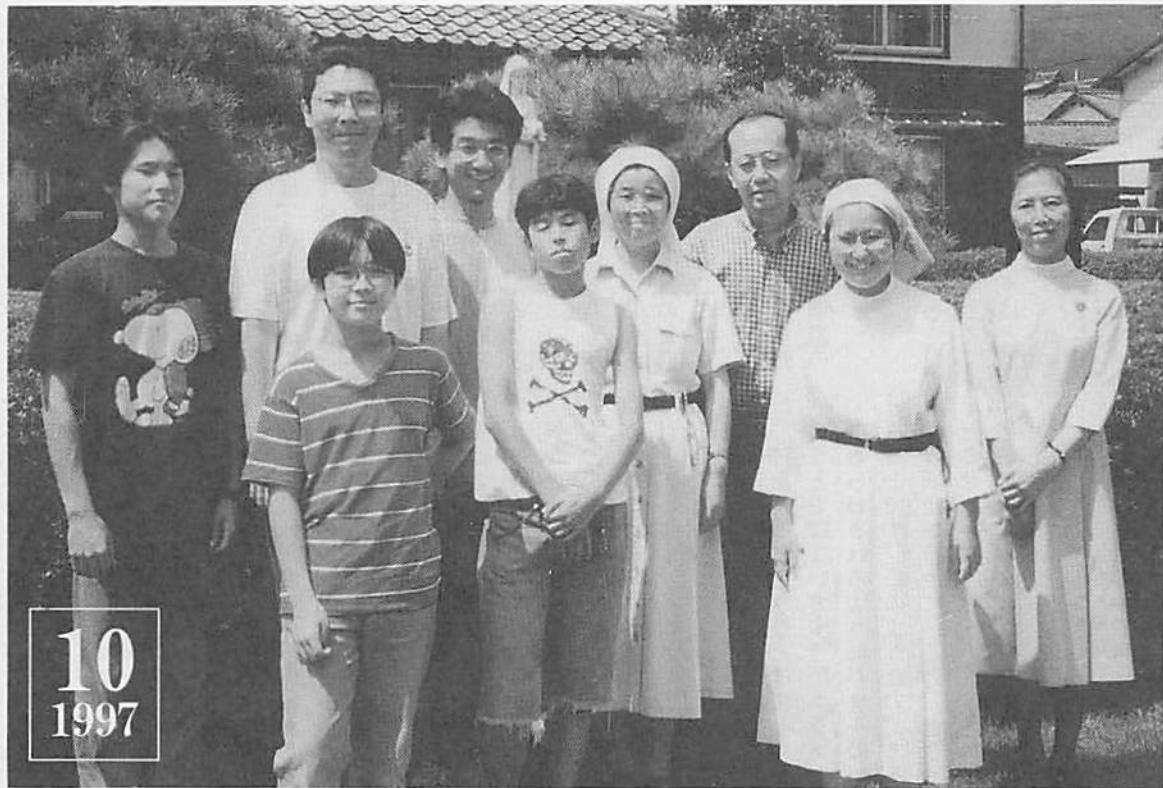


京都教区時報

7頁 MISAS EN:ENGLISH, PORTUGUES, ESPAÑOL

第239号

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
編集用 TEL・FAX
0775-27-6800
(滝野)



10
1997

(写真の後の左から2人目が伏見
教会出身の奥村豊神学生で現在哲
学科2年生、後の左から3人目が
西院教会出身の小山太郎神学生で
哲学科1年生です。)

そこで大切と思われるのは、各々
の職種の本質なのだと思います。
心身の健康は医者が、知性を養い
育むことは教師が、鉄道の安全な
運行は運転手が司るなら、司祭は
何を司るのか。求め続けるべき宿
題のようです。

この世にデビューした人間は、
昨今の芸能プロダクション所属の
歌手のように、売り出す戦略を持つ
ていません。職業選択の自由が定
着し、どの職種にもそれ相応の価
値と安定性が認められるようになっ
た社会では、なおさら人間が生き
てゆく方針、戦略を見出すことは
難しいでしょう。

学校では、生徒達に多くの課題
が課せられます。特に暑い夏休み
には、これでもかという程の宿題
に悩まされます。何もすることが
ないならば、せみの鳴き声もボーッ
とした頭に非常に心地良いのです
が。

召 命

異人キリスト

中川明神父の講演

聖書講座シリーズ「イエスとは誰?」の講演要旨です。

イエスの存在を「異人」と捉えることができるのではないかと少し考えていました。また、このような視点があつてもいいのではないかとも思っています。それでは、具体的に聖書の中から見たいと思います。

●マルコ5・15～ルカ5・27

この箇所から言えることは、イエスが出ていてほしい存在、気分を悪くする存在、さらには恐れをいだかせる存在だと言えるのでないでしょうか。

それは何故かということですが、ルカ5・12～7・36の箇所を読んでいただいて、例えば異なるAとBという集団があります。

この異なった集団、世界を持つてゐるものの中から、ある種の偏見がでてきて、差別が生まれる。違う世界ということと差別とは違うのですが、やはり差別は出てくる。このまつたく異なる世界の中に若干重なる部分がある。そこにい

る人を「異人」といいます。両方属しているんだけど、両方から異人にみられる。すごく中途半端な存在が異人です。

イエスが例え、重い皮膚病の人々に手を触れて癒す。現在こそ感染はしないと証明されていますが、イエスのいた当時の時代では考えられないことだったと思います。だから、イエスは重い皮膚病の人達に属していたと捉えることができると思います。

あるいは、売春婦の話からも明らかに、どこかのグループに属していますし、ファリサイ派の宴会にも出席していますからここにも属しています。このような存在が異人です。私はこのような視点が大事だと思います。これは聖書の伝統のような気がします。

神を知るということは決して甘いことではないです。出エジプトにあらわされるようにパワーのあることです。このような力、ある種の妖怪が持つていて、どきつとさせる存在、そういうイエスの苦しみを思った時、何か打ち破ることのできる力、幸福の訪れ、といった方向の道をもたらすのではなくいかと思います。教会はそういう方向を示すところであつてほしいと思うし、現代社会の中で大切な視点だと考えます。

●旧約聖書、出エジプトから

出エジプトの話を思い出してください。モーゼもまた人々にとつていやな存在だったのです。出エジプトを読んでいて思うのですが、エジプト人はもとよりイスラエル人も神を知らない。そして、出エ

ジプトという出来事。イスラエル人にとって決して楽なことではなかった。しかし、このことを通じてエジプト人もイスラエル人も神を知るのです。

それまではエジプト人もイスラエル人もある種の依存関係で成り立ち、最低限度の生活保障がなさっていたのが、出エジプトの出来事で最低限度の生活保障が壊れるわけです。水がないなどの。だから、最低限度の生活を壊したモーゼはとんでもない人、気分を悪くする存在なのです。このような異質なとんでもない働き、そういうものをもたらすということ、それがもう一つの異人がもつてている力だと思います。イエスの異人性もそのように言えるのではないでしょうか。

イエスが異人でいたのは、本当に私たちが自分自身でわからない穀からぬけ出る、福音をもたらす、そんな意味で異人だと思うのです。イエスがファリサイ派の人々に招かれる、重い皮膚病の人に触れて治す、どちらにも属しているよう

のは境界線上に建てなければならぬと思うのです。それは、境界線というのは、いたるところにあります。例えば、海岸線、山の向こうとこちらの境界にある峠茶屋のように人が行きかう場所になればと思います。

バターン化した現代社会の中で悩む多くの人々の悩みを打ち破る場所、異質な部分に出会う場所、そんな教会であればと思います。イエスが異人でいたのは、本当に私たちが自分自身でわからない穀からぬけ出る、福音をもたらす、そんな意味で異人だと思うのです。イエスがファリサイ派の人々に招かれる、重い皮膚病の人に触れて治す、どちらにも属しているよう

に。

イエスの存在は、今の私たちの苦しみを思った時、何か打ち破ることのできる力、幸福の訪れ、といった方向の道をもたらすのではなくいかと思います。教会はそういう方向を示すところであつてほしいと思うし、現代社会の中で大切な視点だと考えます。

●現代の生活の中で考えると

境界の上に教会を。教会といふ

教区中学生広島体験学習

今年も平和を学ぶために、

去年は、なぜ日本は、原爆をお

八月四日から七日まで広島体

とされなければならなかつたのだ

験学習を行い、中学生二十三

うとか、アメリカの人達はひど

名が参加しました。四日は大

いなとか、日本が被害者として

津教会で学習会と交流会を行

い、五日は「青春18きっぷ」

で広島へ向かいました。途中、

集中豪雨に見舞われ、電車が

三時間もストップし、予定し

るようなことを、日本もしてい

ていた平和行進に参加できま

のだろうなあと思つた。

せんでしたが、平和祈願ミサ

原爆資料館を見ると、原爆の恐

には参加でき、共に祈りまし

れしさがすごく分かつた。

た。原爆投下の六日、平和公園

残念だつたのは、平和行進です。

で祈りを捧げた後、資料館や

夜、頑張つて歌の練習をしたのに、

碑を見学し、午後には長谷川

歌えなかつたからです。

儀神父の被爆体験談を聞きま

しめぐりでは、去年見れなかつ

た。暑い中の四日間でした。

た碑も見れて良かつたです。

が、参加した中学生の皆さん

被爆された神父様の話は、本当に

は、それ何か大切なこと

分かりやすかつたです。びく

を学んでくれたようです。そ

りしたのは、音楽の時間にプロペ

ーラ音を聞いて、飛行機の種類や、

高度を聞き分ける練習をされてい

たといふことでした。本当にうま

く話してくださつて、貴重な話を

して頂いたなあと思つた。なぜか

といふと、原爆のことは本などで

調べようと思えば調べられるけど、

原爆が落とされた瞬間のことは、

本当に被爆された人にしか分から

ないからです。

杉本 学 (宮津教会)

今回の広島体験学習は、二度目の参加だった。しかし、去年とは違うことも感じとつた。

平和を願つて

吉本真由美 (精華教会)

スは、なんでこんなにもひどい原

爆をうけたのに、のこつていたん

だろう。

二キロメートルぐらいはなれていた人が、やけどをおつたり、しんだりしたのに、のこつていたん

だろう。

私はその答えを見つけたい…。

私が一番心にのこつたのが、平和の灯や平和の池、そして、峠三吉詩碑です。

私はをかえせ・私にかんするすべての人をかえせ…」という詩は、ほんとうにかんどうしました。なかに私にできる事はないだろうか?

精霊流しやろうそくに平和とかれたもの、おりづるがいっぱい

おいてあつた原爆の子の像、みんな、みしんな、平和を願つて

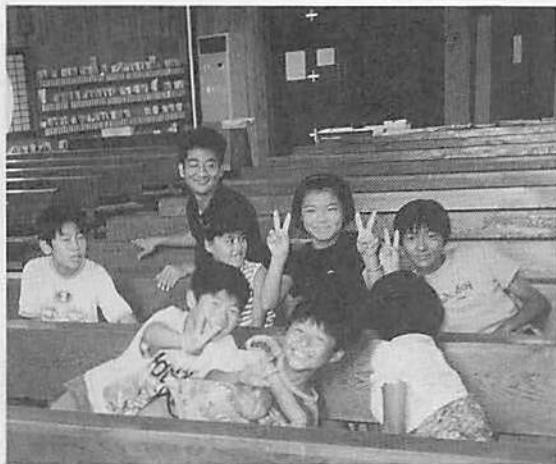
人たちが、広島の平和をねがつて

一つ一つ心をこめて、おつたり、かいたり、ながしたりしたんだな

きつと、もつともつと広島は平和になると思うな、私は……。



7月 8月 キャンプ特集



桂教会 教会学校
桂教会にて



登美ヶ丘教会 夏期練成会
サレジオ志願院より御在所岳に登る



奈良教会 日曜学校
市立青少年野外活動センターにて



高野教会 日曜学校
大森キャンプ場にて



河原町教会 土曜学校

第十一回近隣小教区 教会学校合同キャンプ

伏見・桃山・八幡・宇治・青谷・

田辺・精華・山科の八教会で運営
している合同キャンプが、野外礼

拝センターで、七月二十五日～二
十七日に行われ、約百名の参加が
ありました。今年のテーマは、集
まれ友達神様の子、サブテーマは、
学ぼう神様に命を捧げた二十六聖
人の心をでした。

昨年は大腸菌O(オー)157
の発生のため、やむなく中止とな
りましたが、今年は食事係のお母
さん方を中心に万全の体制で臨み
ました。

キャンプは台風の到来で、プロ
グラムが変更となり、楽しみにし
ていたブールや、お隣りのサンタ
マリア老人ホームのおじいさん・
おばあさん方との交流会が中止と
なりました。しかし、その分たく
さんのゲーム大会ができ、かえつ
て友だちがたくさんでき、グル
ープのつながりも深まりました。そ
の他、工作(旗づくり、ペンドン
ト作り)、夜まつり、キャンプファ
イヤー、老人ホーム訪問(聖歌の
プレゼント)など、とても思い出
に残るキャンプとなりました。



園部・亀岡教会合同
野外活動(5月24日 和知町)



手作りブーメラン



アリンゼ板機卿

(8月3日河原町教会)

子供達の未来と 平和を祈るミサ



高校生会夏の合宿

(唐崎教会 篠田誠司)

あんてな (((((お)))))

七月三十一日から、八月二日
にかけての三日間、大津教会にて、
高校生会がおこなわれた。
参加人数が二十二人とゆうこと
もあって、大津教会や、働く人
の家にある布団だけでは足りず、
唐崎教会からも五セットほど持つ
て行ったのだが、その布団の中
には一年ほど使っていない物も
あるらしいので、大津教会に着
いたらまず最初に、その時いた
人達全員で布団をすべて干した。

ひと通り全部干し終えて、ゆっ
くりしていると、急に夕立がき
て、ほとんど紫外線消毒の効果
のないままかたずけなければな
どか分からぬが、夜、布団
をひき終えると、かなりホコリ
がたつたらしく、ぜんそくの症
状がある人は、少しせきこ
んでいる人もいた。やはり
教会に置いてある布団は、
日頃使わなくても、使わせ
てもらっている小学生、中
学生、高校生が、定期的に
干したらしいと思つた。

そうこうしている間に集
合時間になり、そぞろくと
参加者が集まってきた。さつ

七月三十一日から、八月二日
にかけての三日間、大津教会にて、
高校生会がおこなわれた。
参加人数が二十二人とゆうこと
もあって、大津教会や、働く人
の家にある布団だけでは足りず、
唐崎教会からも五セットほど持つ
て行ったのだが、その布団の中
には一年ほど使っていない物も
あるらしいので、大津教会に着
いたらまず最初に、その時いた
人達全員で布団をすべて干した。

ひと通り全部干し終えて、ゆっ
くりしていると、急に夕立がき
て、ほとんど紫外線消毒の効果
のないままかたずけなければな
どか分からぬが、夜、布団
をひき終えると、かなりホコリ
がたつたらしく、ぜんそくの症
状がある人は、少しせきこ
んでいる人もいた。やはり
教会に置いてある布団は、
日頃使わなくても、使わせ
てもらっている小学生、中
学生、高校生が、定期的に
干したらしいと思つた。

次日の夜に行われた発表の
時、他の班の意見を聞いても、
同じ事を思った。平和で豊かな
時代とゆうのは、世界中の誰も
が望んでいる事だが、豊かすぎ
るうえに見のがしてしまつてい
る幸せとゆうのもたくさんある
のではないだろうか。このよう
にして、一人一人、さまざま
思いを胸に、長くとも短くとも
ある高校生会は終了した。

(((お))) あんてな

外国語ミサ

●MASS IN ENGLISH (英語ミサ)

*SHIN-AI KINDERGARTEN

~PAG-ASA COMMUNITY

Every Sunday 3 p.m.

*Franciscan house

Every Wednesday 4 p.m.

*NISHI-MAIZURU church

The first Sunday of the month 3 p.m.

*KUSATSU church

The fourth Sunday of the month 2 p.m.

*NARA church

The last Sunday of the month 2 p.m.

*YAGI church

The third Sunday of the month 2 p.m.

*TSU church

The second Sunday of the month 2 p.m.

*MATSUZAKA church

The first Sunday of the month 3:30 p.m.

*YOKKAICHI church

The second Sunday of the month 4 p.m.

*SUZUKA church

The fourth Sunday of the month 2 p.m.

●MISSA EN PORTUGUES

(ポルトガル語ミサ)

*Igreja paroquial de KUSATSU

Segundo domingo do mes tarde 15 horas

●MISA EN ESPANOL (スペイン語ミサ)

*Iglesia de FUSHIMI

Segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde

*Iglesia de KUSATSU

Primer y tercer Domingo del mes a las 2:30 de la tarde

*Iglesia de YAGI

Primer Domingo del mes a las 2 de la tarde

*Iglesia de NISHI-YAMATO

Segundo Domingo del mes a las 3 de la tarde

*Iglesia de SUZUKA

Segundo Domingo del mes a las 2 de la tarde

*Iglesia de NAGAHAMA

Tercero, Cuarto y Quinto Domingo del mes a las 10:30 a.m.

●한국어 미사 (韓国語ミサ)

*京都コリアン・カトリックセンター

第1日曜日 午前10時

